

新しい社会貢献のカタチを提案！4時間以上のボランティアで参加可能なロックコンサート



「RockCorps (ロックコープス)」日本開催決定 実行委員会主幹事のサニーサイドアップに関するお知らせ

本日、株式会社サニーサイドアップ（以下サニーサイドアップ）は、米国のソーシャル・プロダクション・カンパニー「RockCorps (ロックコープス)」と協業し、東日本大震災の復興支援を目的とした「RockCorps supported by JT」（主催：RockCorps supported by JT 実行委員会、特別協賛：JT）を、開催することを発表いたしました。

「RockCorps」が日本開催を目指すきっかけになったのは、東日本大震災でした。当社は、東日本大震災後に「RockCorps」CEO スティーブン・グリーンから、日本開催に関するメッセージを受け取り、その活動を知りました。

当社は、「たのしいさわぎをおこしたい」という企業理念を持っています。「RockCorps」が提案する新しい社会貢献は、当社の理念と共通する部分があり、欧米だけでなく日本でも新しい未来をつくりたいとの想いを抱きました。「RockCorps」は、全世界で14万以上もの人々をボランティアの参加という形で動かしており、社会にポジティブな変化を起こすムーブメントであると感じております。

当社は、2011年から約3年に渡り、日本開催の実現に向け「RockCorps」と協業してまいりました。以下に、当社の関わりについてご説明させていただきます。

■ RockCorps (ロックコープス) について 詳細：<http://rockcorps.yahoo.co.jp>

「RockCorps」とは、「Give, Get Given – 与えて、はじめて与えられる」という基本理念の下、音楽の力を通じて「楽しみながら、気軽に参加できる新しい社会貢献の形」を提案し、人々が地域・コミュニティとさらに関わり合いを持つように推進するプロジェクトです。ボランティアが、スポーツ・音楽・ファッション・ゲームなどと同様にライフスタイルの一部となり、若者の生活の中で社会貢献活動がより身近な存在になることを目指す、それが「RockCorps」です。

大きな特徴は、「4時間のボランティア活動をすると人気アーティストのライブイベントに無料で参加でき、そのライブはボランティア参加者のみが体験できる」というシンプルな仕組みです。

これまでに世界9カ国で14万人以上が参加、合計56万時間以上のボランティア活動が地域社会に還元されました。日本においては、東日本大震災の復興支援を目的に、4,000人による16,000時間分のボランティア活動を創出します。

ボランティアへの参加募集は2014年4月9日から始まり、2014年9月6日、あづま総合体育館（福島県福島市）にてプロジェクトを締めくくるライブイベントが開催されます。

■当社と「RockCorps」の関わりについて

当社は、「RockCorps」の与えるインパクトとその背後にある想いに共感し、2011年から約3年に渡り、「RockCorps」日本開催の実現に向け無償にて「RockCorps」と協業してまいりました。4時間のボランティアを行うことでライブイベントを無料で楽しむことができる「RockCorps」は企業協賛や協力団体によるサポートなしでは実現できません。当社は、「RockCorps」を日本において継続的に実施していくために、協賛企業の募集、実施をサポートしていただく協力団体との連携を進めてまいりました。

開催決定以降につきましては、ビジネスとしてこれに参画し、今回の特別協賛であるJT様からの協賛金を活動原資として、ボランティアプログラムの統括、コンサートの運営制作、PRプロモーション活動など、「RockCorps supported by JT 実行委員会」の主幹事としてプロジェクト全体の進行管理を担っております。

今後は、今回の「RockCorps supported by JT」の成功はもとより、日本において「RockCorps」が持続可能な活動となり、継続的な東北地方の復興支援、人々にとってボランティアがより身近な社会の実現に向け、全社をあげて取り組んでゆく所存です。

■当社と復興支援について

2011年3月11日の東日本大震災後、震災2週間後に気仙沼で実施した春の甲子園パブリックビューイング、被災した乳児・未就学児童と母親を応援するための「mam-aid(マーメイド)プロジェクト」、東北の夜空に花火を打ち上げる「LIGHT UP NIPPON」、サッカーチャリティマッチ「TAKE ACTION」をはじめ、様々な復興支援に携わらせていただいております。

既成概念に捉われず「たのしいさわぎをおこしたい」という当社ならでの想いをもちながら、当社ならではのノウハウやネットワークを活かし、そして、営利非営利・官民・個人団体を問わず当社を取り巻くステークホルダーの皆様と手を取り合うことができれば、長く大きな困難にも挑戦し乗り越えていくことができると信じています。復興支援に答えはありませんが、たゆまぬ挑戦を重ね、これからも一歩ずつ、新たな未来に「たのしさ」をつくりだしていきたいと考えています。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社サニーサイドアップ 広報 IR 部 山下、大橋

TEL:03-6894-3233 FAX:03-5413-3052